

水の作文コンクール入賞！

5月の連休中の国語科からの課題であった「第36回 全日本中学生水の作文コンクール」神奈川県支部において、洗足学園中学校の1年生が5名も受賞する快挙を果たしました。N・Mさんが最優秀賞を、T・Nさんが水源環境賞を受賞、そして、O・Nさん、D・Sさん、F・Yさんが入賞しました。本当におめでとうございます！

去る7月23日（水）には神奈川県庁大会議室において表彰式が執り行われました。黒川雅夫副知事から表彰状を受け取る生徒たちの表情からは多少の緊張が見え隠れしながらも、その佇まいは非常に立派で、洗足生として非常に頼もしく感じました。N・Mさんによる最優秀賞受賞作品の朗読も非常に堂々としていました。表彰式の後には希望者に県庁見学ツアーも実施され、普段は入ることの出来ない屋上、建築物としての県庁の歴史の変遷が見える資料室や、宝石類が散りばめられている高価な調度品がある応接室、そして、神奈川県議会本会議場などを見学し、非常に有意義な時間を過ごすことができました。

今回の夏期休業中にも様々な作文課題がありましたが、今後も同様の課題に取り組む機会は必ずあります。そのときに良い結果が得られるよう、日頃から身近なニュースや出来事に興味を持ち、その上で毎日の学習に力を注いでほしいものです。

尚、最優秀賞を受賞した仁科さんの作品は神奈川県代表として全国審査まで進出し、先日、見事入選の知らせが届きました！なお、5名の校内での表彰は2学期の終業式で行う予定です。

神奈川県最優秀賞受賞作品

人間らしい暮らしと水

神奈川県 洗足学園中学校 一年 N・M

東日本大震災のあの日、小学校に迎えに来た母は、「家の中すごいことになってるから」と告げた。マンションの十四階にある私の家は同じ地域でも揺れが大きかったらしい。玄関を開けてまず目に入ったのは倒れた下駄箱や散乱した靴。足をけがするからとスリッパをはき台所に入ると、食器棚から飛び出した十数枚の皿やコップが無残に割れていた。

とりあえず破片だけを片付けると、帰ってから手も洗っていないことに気付いた。

蛇口をひねると水が出ない。水道もガスも電気も止まっている。いつもなら手を洗ってお湯をわかし、お茶を飲みながら母と話すほっとする時間なのに。日も落ちてその日はペットボトルのお茶を飲み、食欲もなかったの、おやつはドーナツが夕食のかわりになった。父は出張中、都内に通学する姉は学校に泊まることになり、母と二人、余震も怖かったので、リビングでコートを着たまま休むことにした。寝る前に懐中電灯を持ってトイレに行くと流れないことに気付く。幸い浴そうにあっただお湯を使って流したが、いつもあたりまえに出来ていたことが出来なくなったことで、不便さよりも、不安や心細さが地震の怖さをより一層強くしたのを、今でもはっきり覚えている。翌日には全て復旧したが、もちろん被災地の人達はもっと大変な思いを長い間されたことだろう。あとで仙台に住む親戚に聞いたところ「お風呂に入れなかったのが一番こたえた」と言っていた。

髪も体も何日も洗えない、汚れた服を変えることも出来ない。避難所では、共同のトイレで、排泄物も簡単に流せないだろう。身体だけでなく精神にもどれだけのストレスがかかるかと思う。

生命を維持するのに必要な飲料としての水だけでなく、人間らしい最低限の生活をするために、水がいかに大切かということだ。

日本に住む私達は普段、水は蛇口をひねれば際限なく出てくるものだと思っている。もちろんその水はきれいで安全な水だ。

世界では十億人以上の人達が安全な飲み水を手に入れることができず、単純な下痢性の病気で毎日四千人、毎

年百八十万あまりの子供達が命を落としているということを調べて知った。

また開発途上国では、生活に必要な水を得るために、水汲みというとても重い重労働を女性や子供が、家族のために毎日何時間もかけて行っているということがわかった。

もし水道施設が整えば、女性や子供達は水汲みから解放され、仕事や学校に行くことができ、女性の社会進出や子供の教育水準を大きく向上させることができる。

まさに水は人間が健康で文化的な生活を送るために真っ先に必要なものなのだと思います。

日本は安全で豊富な水資源を守るために、水質汚染の対策や、気候変動に伴う治水対策に加え、大地震に備えた上下水道の対策や水の備蓄も行わなくてはならない。

そして自分達の国だけ良ければいいというのではなく、途上国が十分に安全な水を得られるよう支援し、技術や資金を提供することも国際社会における日本の重要な役割だと思う。

そして私達ができることは、水を汚さない、無駄に使わないといったあたりまえの事はもちろん、水の足りない社会に住む人たちに心をとめ、できる事をする事だ。

例えば、あるペットボトルの水を買ったと、その売上の一部がユニセフに寄付され、水プロジェクトという、子供たちが清潔で安全な水にアクセスできるよう支援する活動を後押しすることができる。

できるだけ早く世界の水環境が改善され、誰もが健康で文化的な生活を送れるようになればいいと思う。